

## 生活支援体制整備事業とは《市受託》



高齢になっても住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らすことは誰もが願う事です。うるま市では、その実現に向けて「生活支援コーディネーター」を配置し、「協議体」を展開しながら地域の支え合いの仕組みづくりを進めています。

### 「生活支援コーディネーターって？」

いつまでも住み慣れた地域で、いきいきと元気に過ごすことができるように生活支援コーディネーターは、高齢者の皆さんが地域で元気に過ごせるお手伝いをしていきます。

また、地域の団体やボランティア、NPO、社会福祉施設、企業等と協働し、住民主体のサービスを活性化し、地域全体で高齢者を支える体制づくりを地域の方と一緒に進めていきます。



### どんなことするの？

地域の中にある資源を把握し、課題を調べます。

地域づくりの話し合いの場「協議体」を設置します。

今ある活動の活性化や担い手の養成、新たな活動の開発に取り組みます。

関係者のネットワーク化を図ります。

ニーズとサービスのマッチングを行います。

市内のさまざまなサービスや資源の周知に取り組みます。

### 「協議体って？」

協議体では、支え合いの地域づくりのために、地域で活動している人が集まり、地域の困りごとを話し合いながら、地域で暮らし続けるための支え合いの仕組みをみんなで考えます。

